Movie おすすめ映画情報

『いのちの停車場』

いのちを扱う在宅医療の現場を描いたヒューマンドラマ

長年にわたり大学病院の救命救急医として働いてきた白石咲和子は、ある事情から父・達郎が暮らす石川県の実家に戻り、在宅医療を行う「まほろば診療所」に勤めることに。これまで自分が経験してきた医療とは違うかたちでの“いのち”との向き合い方に戸惑いを覚える咲和子だったが、院長の仙川をはじめ、診療所を支える訪問看護師の星野、咲和子を慕って診療所にやって来た元大学病院職員の野呂ら、周囲の人々に支えられ、在宅医療だからこそできる患者やその家族との向き合い方を見い出していく。

主人公の医師・咲和子を吉永小百合が演じ、咲和子を追って診療所で働き始める青年・野呂を松坂桃李、訪問看護師・星野を広瀬すず、院長・仙川を西田敏行、咲和子を温かく見守る父・達郎を田中泯と、豪華キャストが花を添える。

本作には、後援に日本在宅ケアアライアンス、推薦に日本在宅医療連合学会および全国在宅療養支援医協会と、在宅医療関係者の熱視線も注がれている。皆さんもぜひ上映館へ。

※関連記事：本誌『こちら現場からお届けします』（p.358）

- 監督／成島出
- 配給／東映株式会社
- 公開／2021年5月21日（金）から全国の劇場にて順次公開

Movie おすすめ映画情報

『痛くない死に方』

在宅医と患者と家族の物語

在宅医療に従事する在宅医・河田仁は、どことなく自分の中に矛盾や葛藤を抱えながらも日々現場で邁進していた。そんな時、入院ではなく、「痛くない在宅医」にかかることを希望した患者と出会う。しかし、河田のミスにより、最終的には患者は苦しみ続けて死んでしまう。

悔恨の念に苛まれる河田はその後、在宅医の先輩である長野浩平の診療から、在宅医としてあるべき姿を学び、患者に真摯に向き合う診療へと目覚めていく――。

本作は、兵庫県尼崎市で在宅医として活躍する長尾和宏氏の著書『痛くない死に方』『痛い在宅医』（いずれもブックマン社）をモチーフに、高橋伴明監督が映画化したものだ。主演の河田仁役を柄本佑、先輩の在宅医・長野浩平を奥田瑛二、訪問看護師の中井春菜役を余貴美子などが演じる。

在宅医療・在宅ケアに携わる医療・介護関係者としてはもちろん、いつかは自分の親や自分自身に訪れる終末期について考えるきっかけとしても必見の一作。

- 監督／高橋伴明
- 配給／渋谷プロダクション
- 公開／2021年2月20日（土）より全国にて公開中

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2021

2026/09/16 22:58:55

Movie おすすめ映画情報

『ファーザー』

記憶と幻想の境界が崩れゆく父と、戸惑う娘。驚きと不安の中たどり着いた答えとは？

老いることへの不安や親子の愛情を見つめ、大きな話題となった舞台の映画化が実現。監督は、戯曲を手掛けたフロリアン・ゼレール。年齢とともに誰もが経験する喪失や娘との関係を、記憶や時間が混迷していく父の視点で描くという、これまでにない画期的な表現を成し遂げた。

観る者は主人公と共に、何が現実で何が幻想か迷宮のようにスリリングな混乱を体験する。父と娘のやり取りは、切ないけれどおかしく、いらだたしいのに愛おしい。映画はさまざまな感情を重層的に呼び起こしながら、最後には観客を思わぬ感動の境地へと連れていく。

主演は『羊たちの沈黙』でアカデミー賞に輝いた名優アンソニー・ホプキンス。83歳のホプキンスは、自身と同名、同年齢、同誕生日の認知症の父親を演じ、「半世紀を超える役者人生の最高傑作にして集大成」と絶賛されている。父を支える娘は、『女王陛下のお気に入り』でアカデミー賞を受賞したオリヴィア・コールマン。ぜひ映画館で観てほしい。

- 監督／フロリアン・ゼレール
- 配給／ショウゲート
- 公開／5月14日（金）からTOHOシネマズシャンテ他にて全国公開

© NEW ZEALAND TRUST CORPORATION AS TRUSTEE FOR ELAROF CHANNEL FOUR TELEVISION CORPORATION TRADEMARK FATHER LIMITED F COMME FILM CINÉ–@ ORANGE STUDIO 2020

2026/09/16 22:58:55